コミュニティ・スクール津屋崎中学校
学校通信

令和２年１０月５日
文責　校長　清水光朗

≪ 地域伝統工芸品の体験授業をしています。≫

「今回モマ笛の絵付け体験では、モマ笛の起源と絵付けのポイントを教えてもらいながら、絵付けをすることができました。工夫した点は、フクロウの目が生きているようなきれいな目にしようと３色(赤・オレンジ・黄)ほど使ったことです。まだまだ塗れていない所は多いですが、自分らしいモマ笛をつくりたいと思います。」これは、三年生の前美術部部長の田中和泉さんの感想です。

本校では、地域の伝統工芸の歴史、技術・技法を学び、古代から継承されてきた日本のものづくりに触れる機会を作っています。３年生では、９月２９日（火）、３０日（水）の美術の時間に、津屋崎の民芸郷土玩具(みんげいきょうどがんぐ)「モマ笛」の絵付け体験を行いました。このモマ笛、可愛いフクロウの人形は、江戸時代中期に始まったとされる特産民芸品「津屋崎人形」の一種です。厄除け「フクロウ（=モマ)」の笛、歴史は江戸時代からこの地域の言葉で「モマ」と呼ぶフクロウは、「不苦労」「福来る」など語呂合わせもあり、幸福を運ぶとされることが多い生き物、津屋崎でも先を見通す能力を持つ生き物とされていて、モマ笛は厄除けの意味を持つ玩具として昔から親しまれてきたそうです。３年生では、「筑前津屋崎人形巧房」の原田翔平さんを講師で招き、実際に絵付けを行っています。生徒は、自分のオリジナルの絵付けを、夢中になって、楽しく行っていました。とても有意義で貴重な時間になったようです。(↓写真７枚)

１年生では、１０月１日（木)、２日（金）の家庭科の時間に「藍染の実習」をしています。「さらし」を藍染し、二枚横に並べた自分のオリジナルデザインで、暖簾(のれん)にする授業を行っています。この授業は、国の有形文化財（建造物）に登録されている津屋崎千軒民俗館「藍の家」にお願いし、「津屋崎藍いろの会」の渋田和美さん、柴田奈緒美さん、竪山仁美さんの指導を仰いでの藍染の実習でした。生徒たちは、バケツに暖簾を何回かつけて布を染める貴重な体験に、夢中になっていました。(↓写真６枚)

≪ 三年生は学力診断テストがありました。Ⅰ期の通知表をお渡ししています。≫

管内一斉の学力診断テスト(第一回)が、１０月１日に行われました。三年生は自分の進路に向けて本格的に受験勉強が始まりました。また、今年度は、休校の影響で学習の進捗状況が変わったため、７月には通知表をお渡しせずに、先週１０月２日にⅠ期の通知表をお渡ししています。担任からの、生徒を思っての所見や、教科担当からの、十分に考慮しての評定をご確認ください。ご不明な点は担任にご連絡ください。(↓写真６枚)

≪ 第 11 回　管打楽器ソロコンテストが行われています。≫

９月１２日(土)に、春日市ふれあい文化センターにて、福岡吹奏楽連盟主催のソロコンテストが行われました。津屋崎中学校からは２年生の両角春香さん(フルート)、大塚慎之輔さん(Bb ｸﾗﾘﾈｯﾄ)、藤嶋真也さん(ｱﾙﾄｻｸｿﾌｫﾝ)が出場しました。妻鹿賢樹さんは両角さんの伴奏者として出場しました。惜しくも表彰には至りませんでしたが、特に藤嶋さんが高得点で評価されていました。四人とも素晴らしいい演奏でした。(写真、左下)

≪ 中体連主催、新人大会が始まりました。≫　(↑写真、右２枚　陸上部２年 南 龍樹さん、末廣葵子さん)

陸上部は筑前地区大会が１０月３日(土)に、博多の森陸上競技場で行われました。100MH で南さん、三段跳びで大田さん、800M で末廣さん、1500M で花田さんが県大会出場を決めています。ソフトボール部は、一回戦は９対４で城山中に勝利しましたが、二回戦で福間中に３対６で惜しくも敗れました。剣道部は、大将の秦さんが全勝しましたが、団体戦の予選で、１勝２敗で敗れました。野球部は、一回戦玄海・中央中に、７対０で、５回コールド勝ちしています。今週土曜日に二回戦が行われます。一・二年生は、体育祭が終わって間もないですが、忙しくも充実した毎日が送られているようです。